製品概要
SeeEyes　同軸LANコンバーター

SC-IPC0702P



※1. 仕様についての詳細は、弊社の当製品情報ページに掲載している仕様書を参照ください。
※2. 運用にあたっては、弊社の当製品情報ページに掲載している「取扱説明書」を参照ください。
※3. 弊社Webサイト：https://n-sk.jp/

2026年10月

目次

01 製品特徴・新旧比較

02 接続構成・伝送パターン

03 FAQ

目次

01 製品特徴・新旧比較

02 接続構成・伝送パターン

03 FAQ

製品特徴

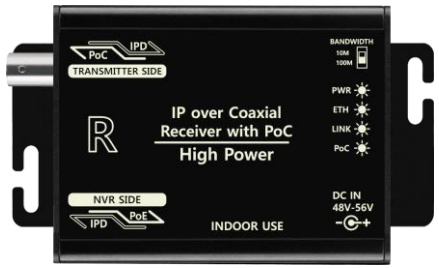
製品の特徴

- 1つの同軸ケーブルでIPカメラ2台電源供給可能（PoE Mode-B対応/最大60W）
- 伝送帯域幅：10/100Mbps（帯域幅スイッチ対応）
- 一本の同軸ケーブルで電源とイーサネットデータを最大 1,000m 伝送可能 ※10Mbps
- カメラ側PoE ON/OFF設定可能（PoEスイッチ対応）
- PoE給電対応受信機（DCアダプタなしでも運用可能）

SC-IPT0702P
(送信機)



SC-IPR07HP
(受信機)



新旧比較：主な仕様

項目	New SC-IPC0702P	Old IPS-EC105
機器構成	2ポート送信機＋受信機	1ポート送信機＋受信機
カメラ側LAN	RJ-45 ×2 カメラ2台を直接接続	RJ-45 ×1
最大給電	最大 60W（2ポート合計）	最大 30W
伝送速度	10/100Mbps（スイッチ切替可能）	100Mbps
伝送距離（理論値） ※5C-HFBT基準	100Mbps：最大 500 m 10Mbps：最大 1,000 m	最大800m 500m以上で通信・給電が低下

新旧比較：その他仕様

項目	New SC-IPC0702P	Old IPS-EC105
LANポート	10/100Mbps	10/100Mbps
PoE出力規格	Passive PoE方式	IEEE 802.3at
電源入力	DC48～56V・1A～2A または PoEハブ（IEEE 802.3af/at/bt）	DC48V±5%・最大1.25A
動作温度	-10℃～+50℃	-10℃～+50℃
本体寸法 (長さ×幅×高さ)	送信機：93mm × 92.4mm × 34.7mm 受信機：103mm × 60mm × 25mm	送信機：90mm × 50mm × 25mm 受信機：90mm × 50mm × 25mm

目次

01 製品特徴・新旧比較

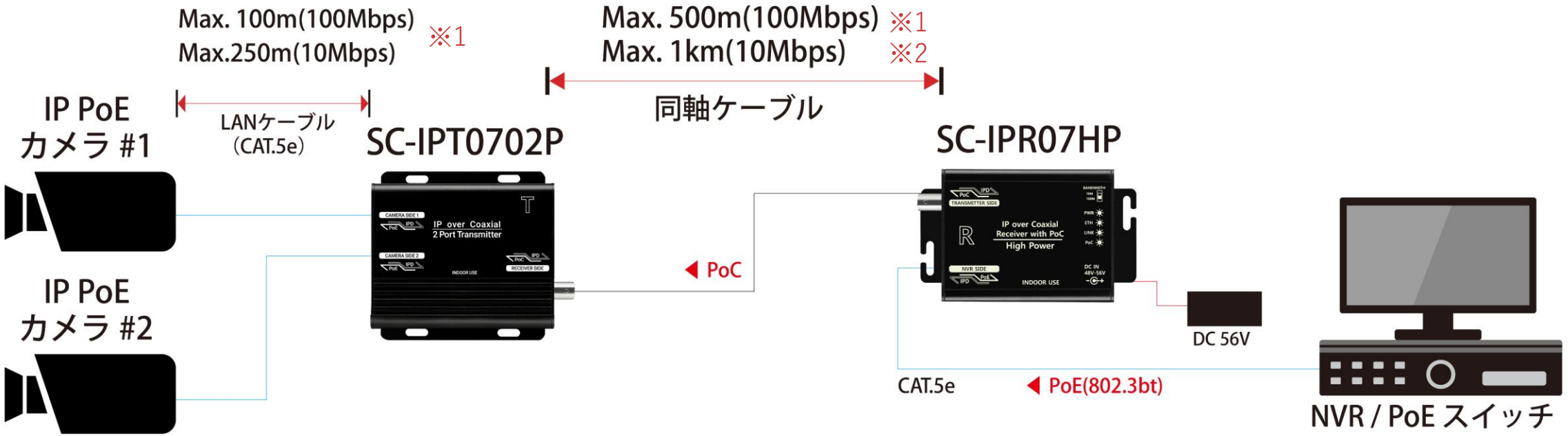
02 接続構成・伝送パターン

03 FAQ

接続構成

SC-IPC0702Pの接続構成

1本の同軸ケーブルで、カメラ2台分の電源・ネットワークを伝送



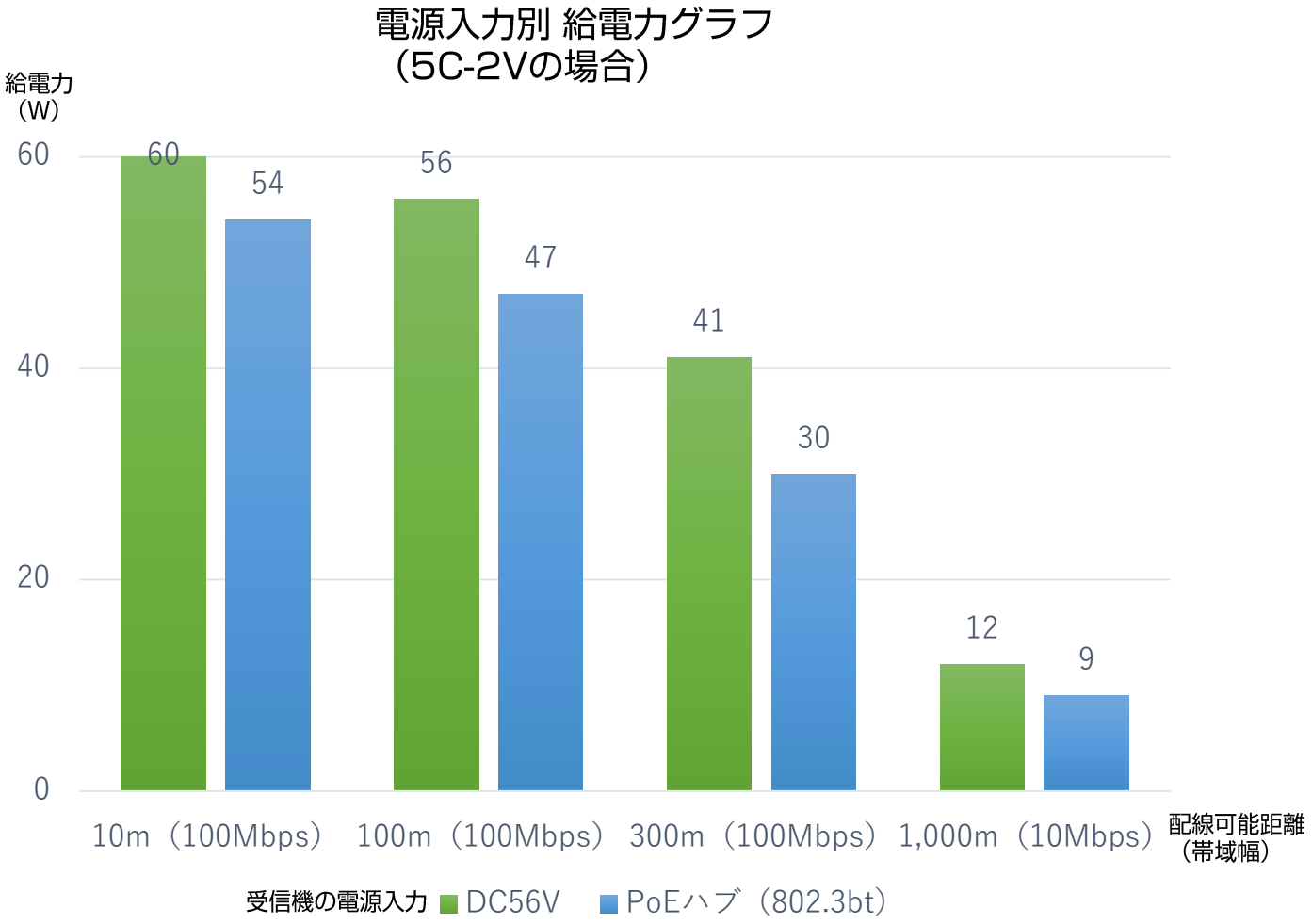
注意点

※1．送信機・受信機それぞれの帯域幅スイッチで調整
※2．1kmの伝送が可能な同軸ケーブルは「5C-2V」「5C-FB」「5C-HFBT」のみ

伝送パターン

SC-IPC0702P：給電力グラフ・表

・２台以上のIPカメラを接続する場合は、合計の必要電力を照合



供給可能電力 – SC-IPR07HPにアダプター連結時

伝送距離 ＼ ケーブル		5C-FB	5C-2V	3C-2V	RG-58	RG-59
100Mbps	10m	60W	60W	59W	60W	58W
	30m	59W	59W	56W	58W	57W
	100m	58W	56W	47W	54W	55W
	200m	54W	49W	28W	46W	40W
	300m	50W	41W	18W	35W	30W
	400m	45W	32W	13W	27W	22W
	500m	38W	25W	11W	21W	18W
10Mbps	600m	33W	22W	9W	17W	14W
	700m	28W	18W	7W	14W	13W
	800m	25W	15W	-	12W	-
	900m	22W	13W	-	-	-
	1km	20W	12W	-	-	-

※ 設置環境(ケーブル品質など)によってPoE出力および伝送距離は異なる場合があります。

目次

01 製品特徴・新旧比較

02 設置環境・運用パターン

03 FAQ

Q 既設のアナログカメラで使用していた同軸ケーブルは、そのまま利用できますか？

A はい、既設の同軸ケーブルを流用できます。ただし、ケーブルの種類や劣化状態によって伝送距離や給電能力が変わるため、事前確認が必要です。
なお、本製品はアナログ映像をIP映像に変換する機器ではないため、カメラはIPカメラに変更する必要があります。

Q 最大何mまで映像を伝送できますか？

A 5C-FB同軸ケーブルを使用した場合、最大伝送距離は以下のとおりです。
・100Mbps設定：最大500m
・10Mbps設定：最大1,000m
ただし、どちらも仕様上の理論値であり、ケーブルの品質や接続環境、給電条件によって実際の伝送可能距離は変わります。

Q 最大60WのPoE給電は、カメラ1台あたり60Wという意味ですか？

A いいえ。最大60Wは送信機全体の給電能力を示す値であり、各ポートから60Wずつ供給できるという意味ではありません。
また、伝送距離が長くなるほど供給可能電力は低下します。
接続しているカメラの台数分の最大消費電力の合計と、実際の伝送距離を照合して選定してください。

Q 1本の同軸ケーブルでIPカメラを2台接続できますか？

A はい、可能です。送信機のSC-IPT0702PにはLANポートが2つ搭載されており、2台のIPカメラのネットワークデータと電源を1本の同軸ケーブルにまとめて伝送できます。また、PoEハブの使用で2台以上の接続も可能です。
ただし、通信帯域と給電能力は接続台数で共有するため、それぞれの必要条件を確認してください。

Q 5C-FB以外の同軸ケーブルにも対応していますか？

A はい。5C-2V、3C-2V、RG-58、RG-59などの同軸ケーブルについても伝送距離を掲載しています。例えば、RG-59では100Mbps時に最大300m、10Mbps時に最大700mが目安です。
ただし、ケーブルの種類だけでなく、劣化や接続部分の施工品質も確認する必要があります。

Q 受信機側には専用の電源アダプターが必要ですか？

A SC-IPR07HPは、DC48～56Vの電源入力、または対応するPoEハブからの給電に対応しています。PoEハブから受電する場合はIEEE 802.3af / at / btが仕様に記載されていますが、使用する給電機器によって送信機側に供給できる電力は異なります。
特にカメラを2台以上接続する場合や長距離伝送では、必要電力を確認したうえで給電方法を選定してください。

FAQ：2

Q 1km伝送する場合、送信機と受信機の両方を10Mbpsに設定する必要がありますか？

A 受信機SC-IPR07HPの帯域幅スイッチは、同軸回線の通信速度を10Mbpsまたは100Mbpsに設定します。一方、送信機SC-IPT0702Pの帯域幅スイッチはカメラ側の通信速度設定です。したがって、2つのスイッチは役割が異なります。1km伝送時は受信機側を10Mbpsに設定し、送信機側はカメラとの接続条件に応じて設定します。

Q IEEE 802.3af / at / bt対応のPoEカメラは接続できますか？

A SC-IPT0702Pのカメラ側PoE出力は、パッシブPoE方式です。パッシブPoEは、接続機器との通信による確認を行わずに電力を供給する方式です。
そのため、IEEE 802.3af / at / bt対応という表記だけで、すべてのカメラへの給電を保証することはできません。接続予定のカメラについて、PoE受電方式・最大消費電力・必要な給電条件を確認してください。

Q 10Mbps設定の場合、4MbpsのIPカメラを2台接続しても問題ありませんか？

A 4Mbpsのカメラ2台では、映像データだけで合計8Mbpsとなります。10Mbpsの通信帯域内には収まりますが、ネットワーク通信のオーバーヘッドやビットレートの変動などを考慮すると、安定した伝送を保証できません。
実際の運用では、カメラ2台の合計ビットレートに余裕を持たせ、必要に応じて設定調整や事前検証を行うことを推奨します。

Q PoE非対応のIPカメラでも接続できますか？

A はい、接続可能です。ただし、PoE非対応のIPカメラを接続する場合は、SC-IPT0702Pの該当ポートのPoEスイッチを「OFF」に設定してください。
また、カメラには別途専用の電源アダプターなどから電源を供給する必要があります。